

臨時休業中の過ごし方 ～ 孤独のすすめ ～

新型コロナウイルス防疫のための休校が続き、不要不急の外出を控えるようにしていることと思います。クラスや部活動で仲間や先輩・後輩と一緒に過ごしてきた学校生活とは全く異なった生活を有意義に過ごすためには、どのようにしたら良いかについて一つの見方を提供します。

今日の若者は仲間とのつながりに必要以上に精力を注いでいるといわれています。携帯電話やスマートフォンが手放せない、クラス替えや席・班決めが重大事となる、クラスや学年での評判や噂が気になるなどはその例です。男子の中にトイレへ行くのも一緒という様子を見ていると少し心配にもなります。このように多くの人たちが一人になることへの不安を抱えている状況で自分と向き合う時間というのは貴重であると思います。

「孤独」という言葉は、排除や差別などに通じる意味合いがある所から、マイナスのイメージを持たれることがあります。「孤独死」とか「ひきこもり」など「無縁社会」と言われる昨今、特にその傾向が強まっているようにみえます。しかし、孤独にはプラスの側面がある事を忘れてはいけません。「自分とは何か」というアイデンティティの問いには、親や仲間から離れ寄り添なき自分を見つめることがどうしても必要になります。そしてそれを怠って成長はありえません。また進路選択や受験についても同様であることは言うまでもありません。敢えて一人になり自分を見つめることで、自立した人間となるための契機とすることができるのです。しかもこうした孤独の営みを経ることで、人は真に他者を思いやる力を持つこともできます。自立した者同士が支え合うという関係性を築くことができるからです。

「孤独とは我々の人生や社会を豊かにするための大切な営みだ」と捉えて、この長い自宅学習期間に自分を見つめ直す有意義な活動に取り組んでみてください。学校から指示された学習課題に取り組むことはもちろんですが、各自の課題の解決を図ったり、本を一冊読み切ったり、各自の進路について改めて問い直しを試みたり、自分自身と真正面から向き合える時間をこの機会に確保してみてください。 (文責：教頭)